

天竜川水系飯田圏域河川整備計画(原案) 公聴会 公述記録

掲載は公述順です

関島 武さん

どうも皆さんこんばんは。私は、飯田市 の区長を務めております関島と申します。本日は慣れない席での公述ということで、十分なお話ができるかどうか心配でございますが、お聞き願いたいと思います。5分という短い時間でございますので、用意した原稿の中で、はしる形の中でお話を申し上げます。よろしくお願いいたします。

私ども、このたびのこの公聴会に名古屋を流れております毛賀沢川が非常に老朽化しておるとい形の中で、今まで何回もまちづくり委員会をとおし、そして飯田市へと働きかけてまいりましたが、本日このような機会を頂きまして、発表できることになりましたことを厚く御礼を述べる次第でございます。

さて、私どもの毛賀沢川は、飯田市北方から名古屋を經まして松尾の毛賀地区ということで天竜川に合流するという、全長が11.8kmという一級河川でございます。この河川は、かつては名古屋が非常に農村地域で畑、田んぼ一体が広がっていた頃には、なんら水害ということは起こらなかった地域でございますが、バイパス開通によって大きくその地域の開発が一応進んだわけでございます。当時なかった学校が来、それから大型店が来、それから市立病院が来、それから倉庫、アパートそういった物が続々と一応できたわけでございます。それによって一時の集中豪雨といわれるものが、全て毛賀沢の川に入るといような形になりまして、著しく変化に対応できるような河川ではなかったということが近年になって感じる次第でございます。そうした形の中で、この毛賀沢川が昭和36年の豪雨災害のその時に本当に全川にわたって崩れてしまうという大災害を受けました。そして、十分に改修していただいたわけでございますが、応急の工事だったのかと気がするわけですが、それによって10年後位からは、いつもいつも雨が降るたびに部分的な崩落が繰り返されたということでございます。その都度、早急の手当てはしていただきましたが、なかなか河川の全面改修ということはできずに、もう次から次へと頻繁に起こるといような状況でございます。ここ2~3年を見ましても年に3箇所位はそういった形のものがあり、あの国交省の方に連絡をして、一応やってもらっているようなそんな状況でございます。

そして、この毛賀沢川といわれるのは、かつては非常に水が少なく、その雨の時だけが水かさが増えたといようなことがありますけれど、36年災害以降ではほとんどいようなことがなかったはずでございますが、先ほどのような大開発が進んだ形の中で、そんな形に一応なってしまいました。それで、この地域の場合は毛賀沢のみならず、その上流域の北方であったり、西ノ原、それから上殿岡、下殿岡、一色、それから名古屋に降った水、そういったものが一気にそこに集中するといような形に一応なったわけでございます。

豪雨の際には、本当に今の川の堤防では今後、非常に心配でございますし、私どもの生活安全ということを考えても、不安ばかりでございます。その度に堤防の修復といような形でなくて、できるだけ早い時期に全面改修とい形をお願いできたらいように、

その考えておる次第でございます。

先ほどの映像の中で、新戸川と円悟沢川の映像を一応見ましたけれども、私ども毛賀沢川も同様に優先的な整備計画河川に組み込んでくださるように強く要望を致して終わりたいと思います。ありがとうございました。

新井 健司さん

まちづくり委員会を代表しまして、ひと言お願いしたいと思います。 地区では、先ほど関島さんがお話されたように、毛賀沢川の改修について、建設事務所長さんの所に提言させていただいて、ずっとおるわけですけれども、やはりいわゆる河川の改修という費用がないというようなお話から、いわゆる改修がされていないというふうに思われます。

毛賀沢地区は、旧町村でいいますと伊賀良、そして鼎、竜丘、松尾という、そういう4箇所流れているわけですけれども、国道153号バイパスができることによりまして、飯田インターチェンジからずっと下のほうへ降りてくるわけですけれども、途中からバイパスから外れまして鼎地区に入ってくるわけですが、鼎地区は先ほど申しましたように洞底なもんですから、どうしても川自体も蛇行しておりまして、昭和36年の災害の護岸ということで、老朽化しているということが現実でございます。

そういった意味から、飯田のいわゆる一等地のバイパスの近所が、宅地開発あるいは工場等進出して開発が進んでいるということで、流域面積がかなり広いということで11.8kmというお話ですけど、いわゆる私どもがお願いしたいのは、そのうちの5kmくらいかなとは思いますが、老朽化しているという毛賀沢川の改修を是非お願いしたいと、あの新戸川、円悟沢という川も大事ですが、松川ダムは当然でございますけれども、それがいわゆる新戸川、円悟沢と並び称するくらいの受益者というか、近隣住民の災害に対する受益面積があるんじゃないかなと思いますので、是非、毛賀沢川も加えていただきたい。

河川整備計画は今後20年ということでございますけれども、その3つしか、いわゆる新戸川、円悟沢、松川その3つしか今後計画ないという、何とか河川行政の寂しさを私は感じるわけでありまして、少なくとも飯田市の一番中央部を流れている毛賀沢川を是非、取り上げていただきたいです。

新戸川も140m、円悟沢が340mという流域からいいますと、あの延長からいいますとわずかなことで、河川行政のお金がかかなり厳しいなという現実はわかりますけど、毛賀沢川の改修というのは、鼎の住民にとりまして悲願であるというふうに私は思っていますので、是非取り上げていただきまして、この河川整備計画の俎上に載せていただきたいというふうに思います。どうかよろしくお願いいいたします。どうもありがとうございます。